

～第5次総合計画の総括と
新たな総合計画に向けて～

令和元年10月24日

第5次総合計画の総括について

- ① 富良野市は、第5次総合計画（平成23年度から）において、どんな目標を掲げ、この8年間**どのようなまちづくり**を進めてきたのか？
- ② その結果、どのような**成果**がみられたのか？
- ③ これからの**社会経済情勢の変化**を見据え、富良野市はどのようなまちづくりをめざしていく必要があるのか？

第5次総合計画の将来像と基本目標

富良野の魅力や強みを活かした創造するまちづくり

市民の暮らしを地域と行政がともに支えるまちづくり

【将来像】 安心と希望、協働と活力の大地「ふらの」

～住み続けたいまち、そして子どもたちに誇れるまちをめざして～

基本目標 1 次代を担う子どもたちをみんなで育むまちづくり

基本目標 2 やさしさと生きがいを実感できるまちづくり

基本目標 3 人と自然が共生する環境にやさしさまちづくり

基本目標 4 地域の魅力ある産業を活かしたまちづくり

基本目標 5 市民と地域、行政が協働して築くまちづくり

第5次総合計画で取り組んだ8つの主な施策 富良野市

①	保育・教育施設の整備
②	中心市街地の活性化
③	地域医療の充実
④	出会いの場と少子化対策
⑤	労働力確保と地域経済の活性化
⑥	支え合い助け合いのまちづくり
⑦	社会資本の整備
⑧	情報開示と市民対話

① 保育・教育施設の整備



H23年富良野小学校体育館



H24年緑町児童センター



H25年麓郷小中学校体育館



H26年東小学校校舎体育館



H26年樹海小学校耐震改修



H27年虹いろ保育所

② 中心市街地の活性化

 富良野市



H26年東5条市街地再開発



H27年フラノマルシェ2



H30年コンシェルジュフラノ



H30年サンライズパーク



ビ・アモール



アスパラ祭り

③ 地域医療の充実



H23年度からの富良野看護専門学校卒業生202名のうち79名が富良野市内の医療機関に就労

- 地域センター病院医師確保対策の助成
- 地域センター病院医療機器の助成
- 初期救急医療確保対策事業
- 小児救急医療支援事業
- 広域救急医療対策事業
- 医師養成確保就学資金貸付金



H27年7月に山部診療所開所

⑤ 労働力確保と地域経済の活性化



H26年農業担い手育成センター開所



H28年しごと情報サイト開設



H29年子育てママ×子育て応援農家



介護人材確保のための資格取得支援や、企業の人材確保のためのUIターン住宅支援(令和元年度から)



プレミアム付商品券の販売や住宅リフォームの補助



企業誘致や観光プロモーション、海外からの投資に向けたトップセールス

⑥ 支え合い助け合いのまちづくり



ファミリーサポートセンター



ふまねっと運動



51地区の支え合いのマップづくり



43地区の自主防災組織



地域と学校が協働しながら取組むコミュニティスクール

⑦ 社会資本の整備



五区山部線外14路線の整備



富良野道路の開通



29箇所の公園遊具更新



8棟68戸の公営住宅建設



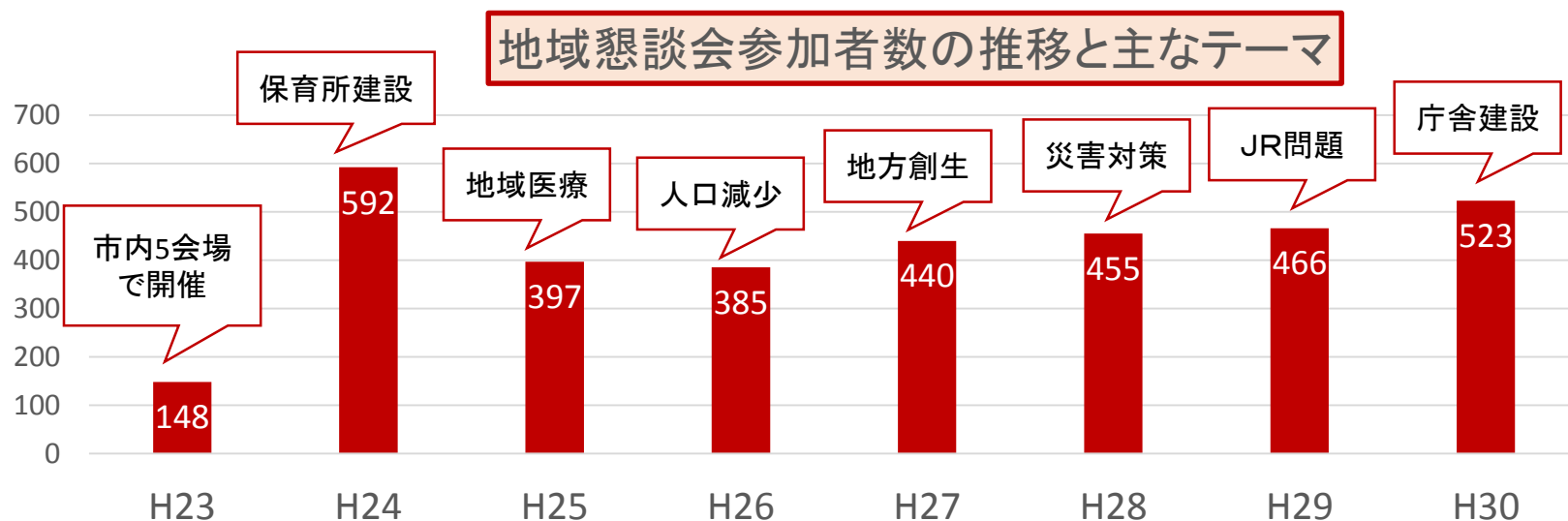
農村地域の光回線整備



北の峰景観地区の指定

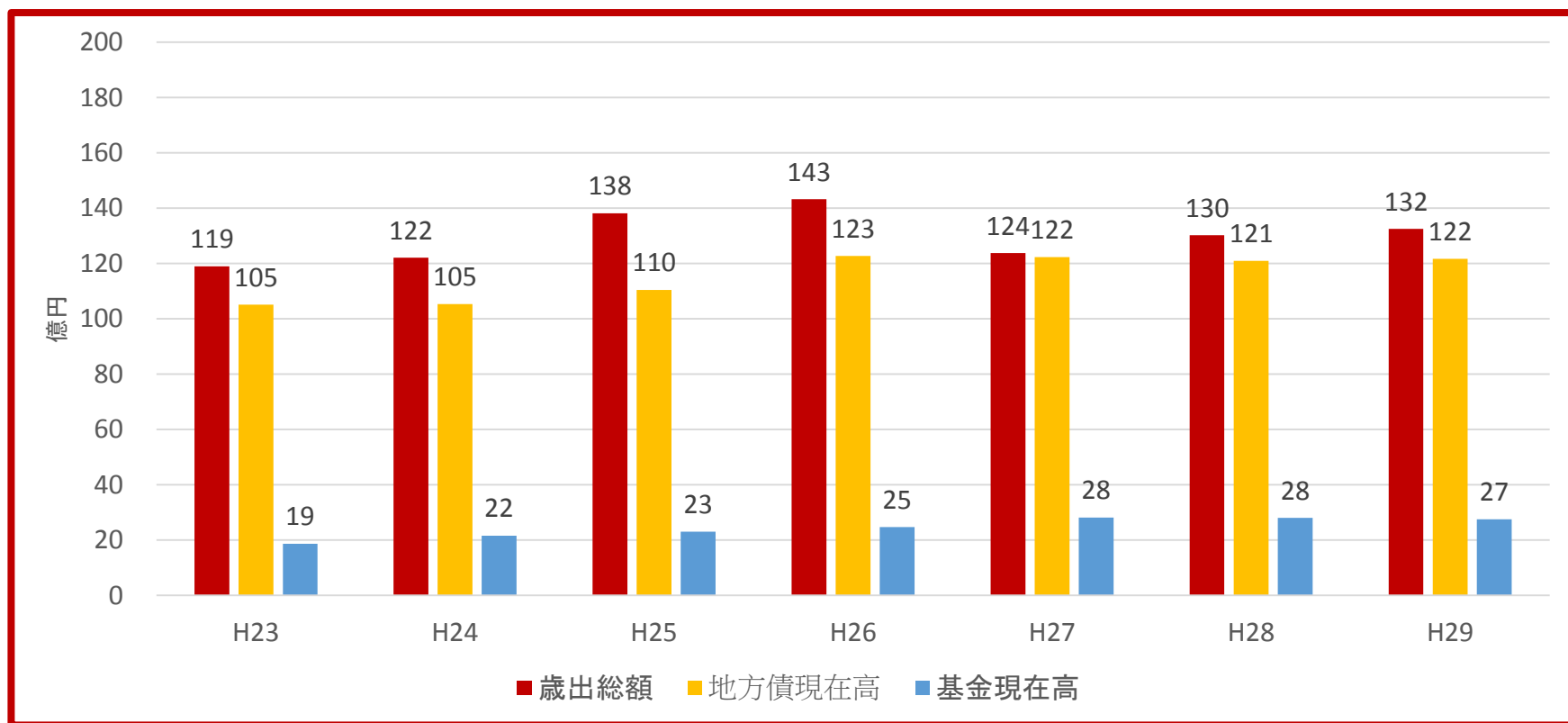
⑧ 情報開示と市民対話

情報開示と市民対話に向けて、市長が地域に出向く「地域懇談会」を市内15会場で開催しました。平成23年度からの参加者は延べ3,400人以上となり、市民からの意見は、苦情・要望型から市政に対する政策提案型の意見が増えつつあります。



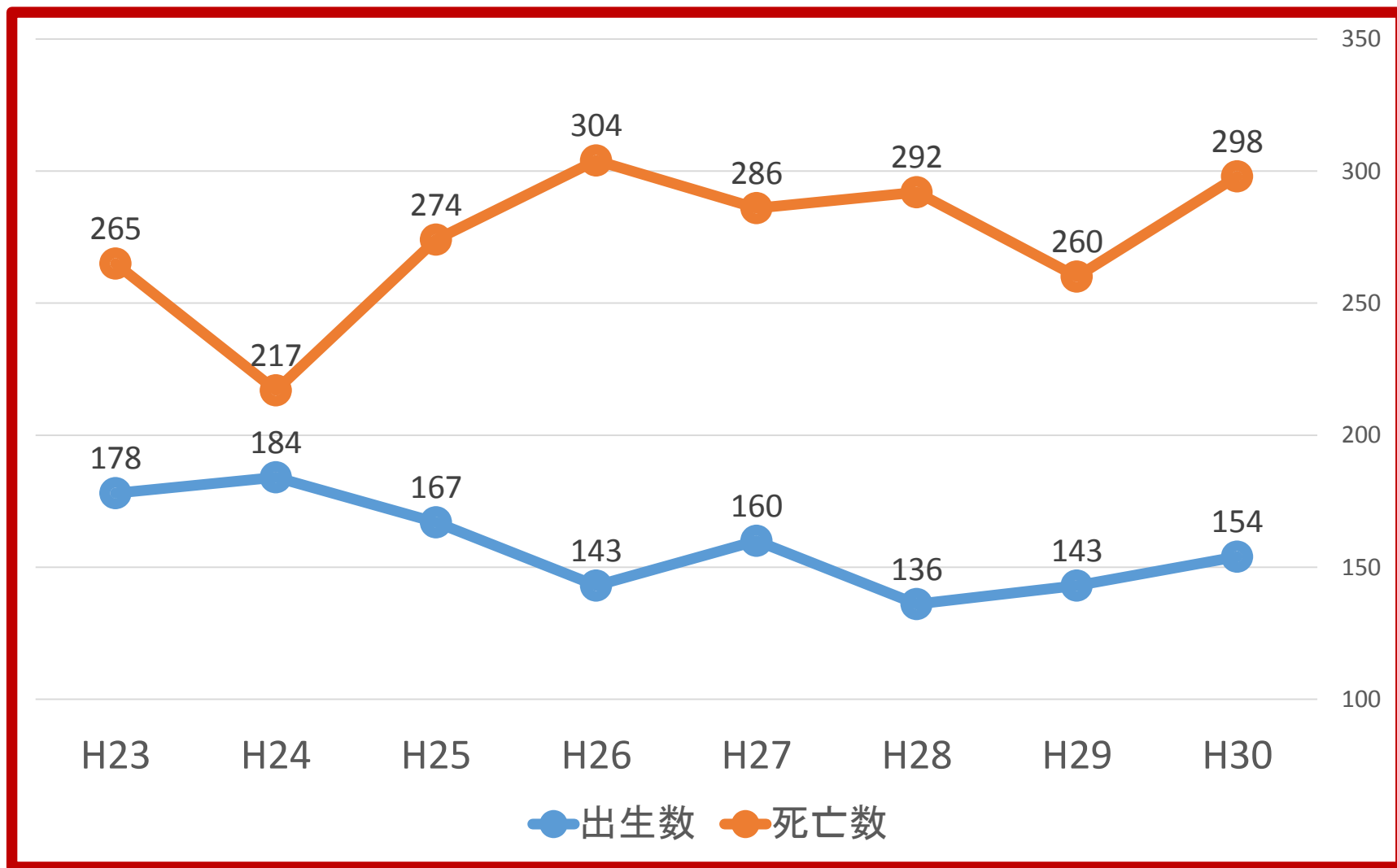
H23年度からの一般会計の財政状況

- 平成23年度から29年度までの一般会計歳出総額は908億円です。
- 平成23年度から26年度までは学校施設の整備により歳出は増加していますが、地方債は平成27年度以降120億円台で推移しています。
- 基金は、平成23年度の19億円から平成29年度は27億円まで増加しています。

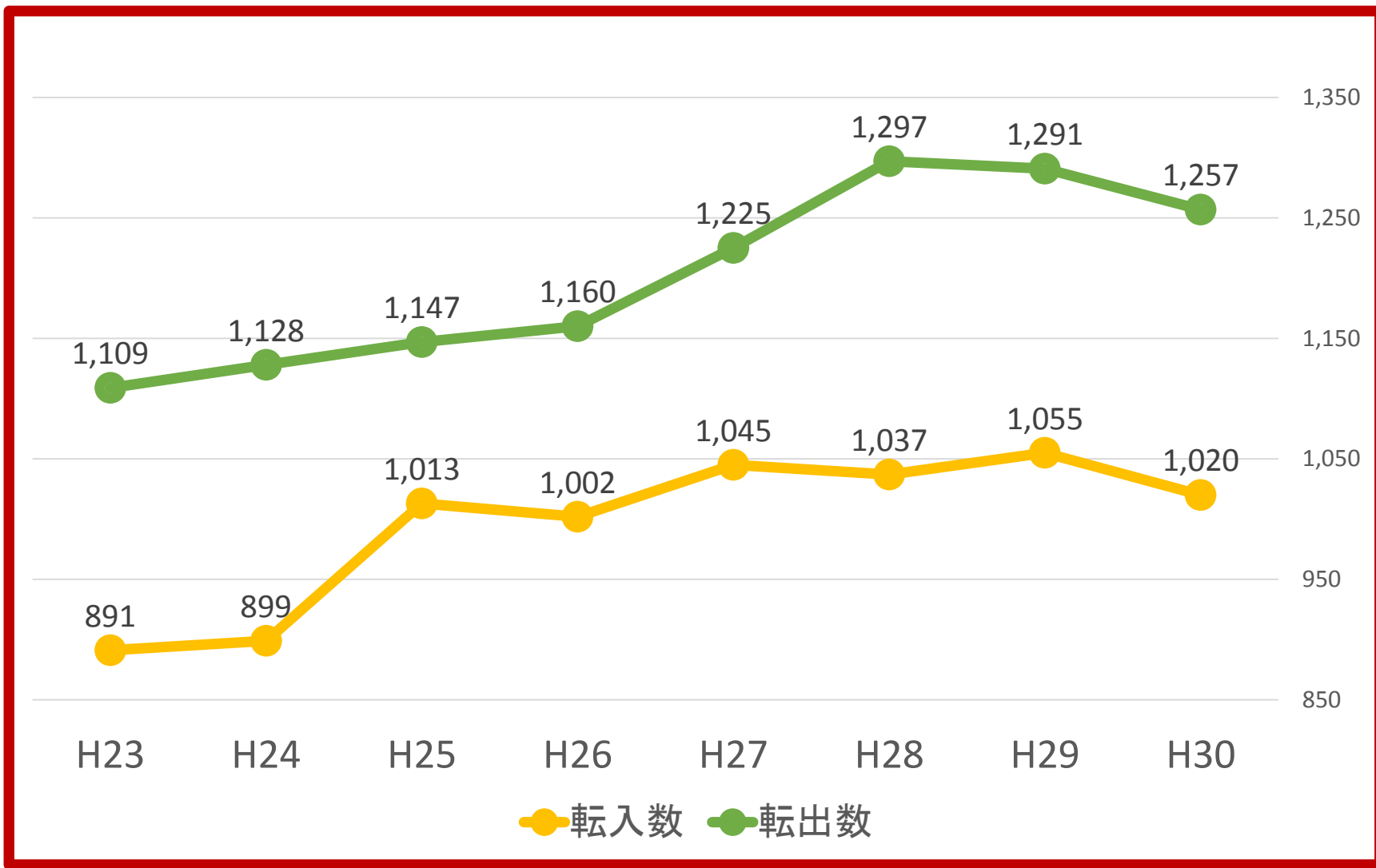


富良野市の死亡数・出生数の推移

 富良野市

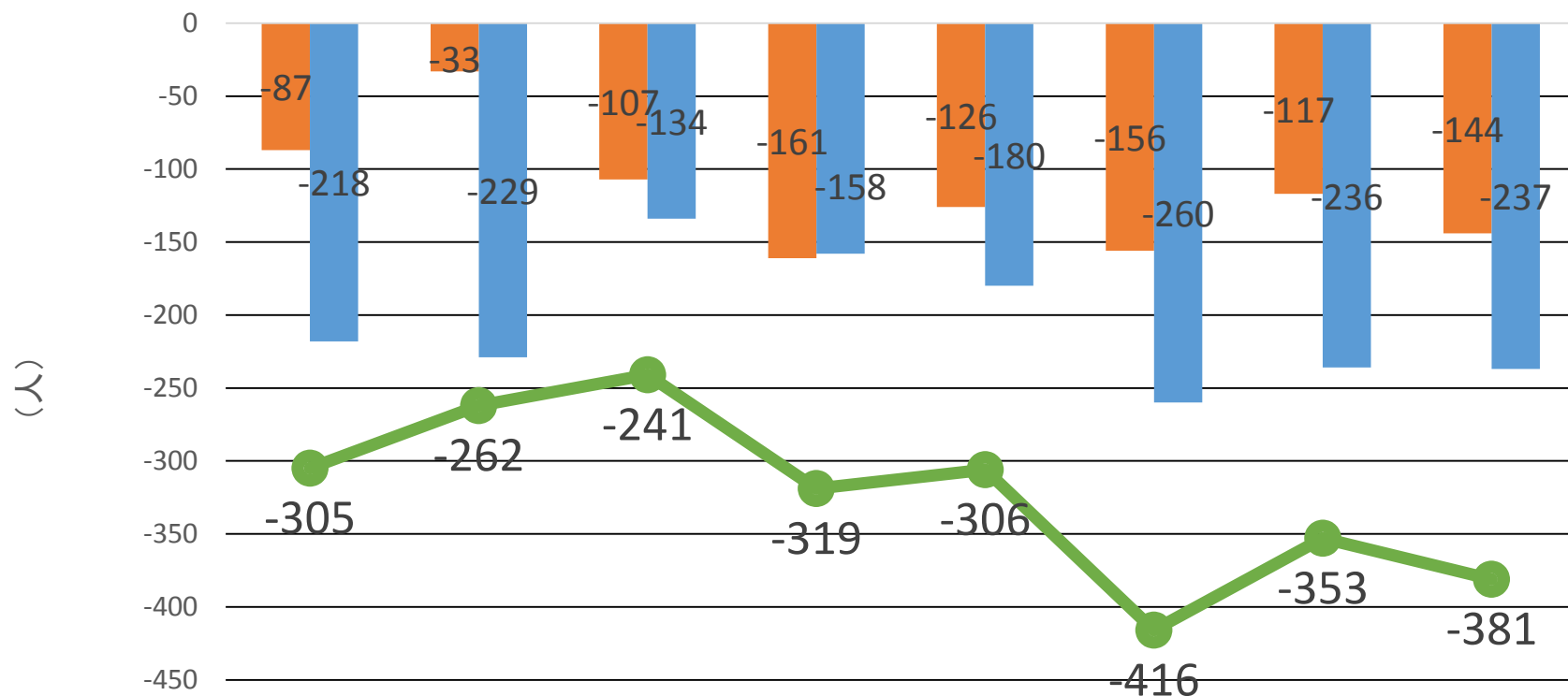


富良野市の転出数・転入数の推移



富良野市の自然減・社会減の推移

 富良野市



	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
自然動態	-87	-33	-107	-161	-126	-156	-117	-144
社会動態	-218	-229	-134	-158	-180	-260	-236	-237
人口増減	-305	-262	-241	-319	-306	-416	-353	-381

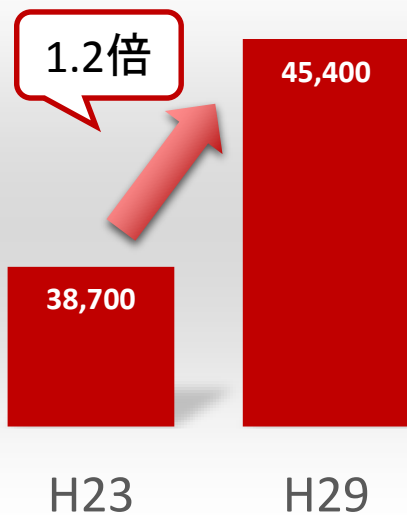
自然動態 = 出生数 - 死亡数

社会動態 = 転出数 - 転入数

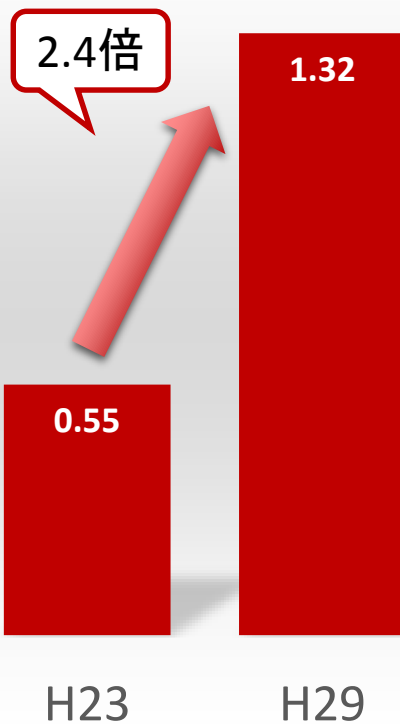
第5次総合計画の成果



商業地地価



有効求人倍率



外国人宿泊人数

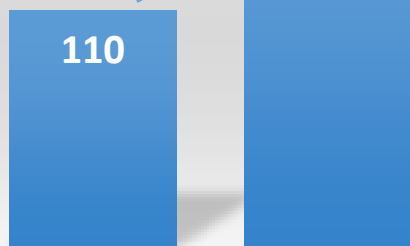


第5次総合計画の成果



ファミリーサポート
センター会員数

1.4倍

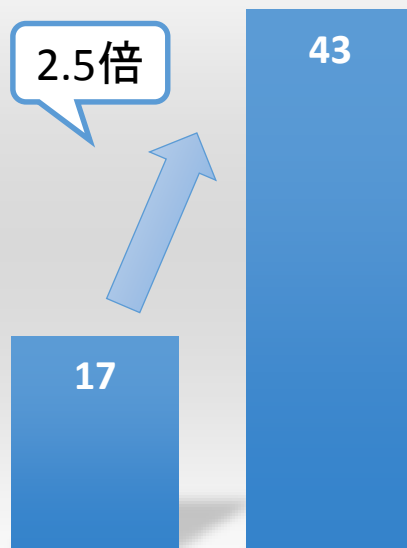


H26

H29

自主防災組織数

2.5倍

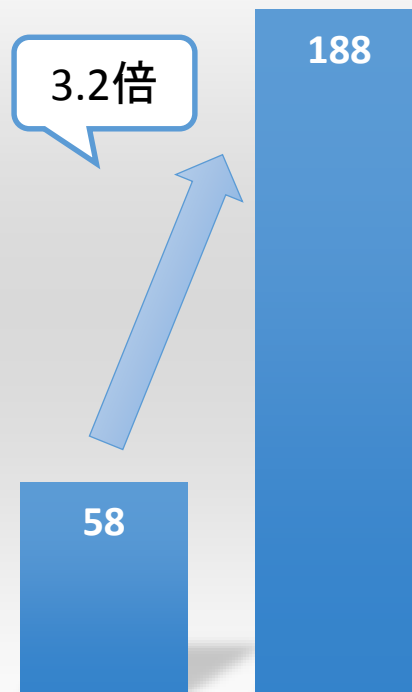


H23

H29

ふれあいサロン
開設回数

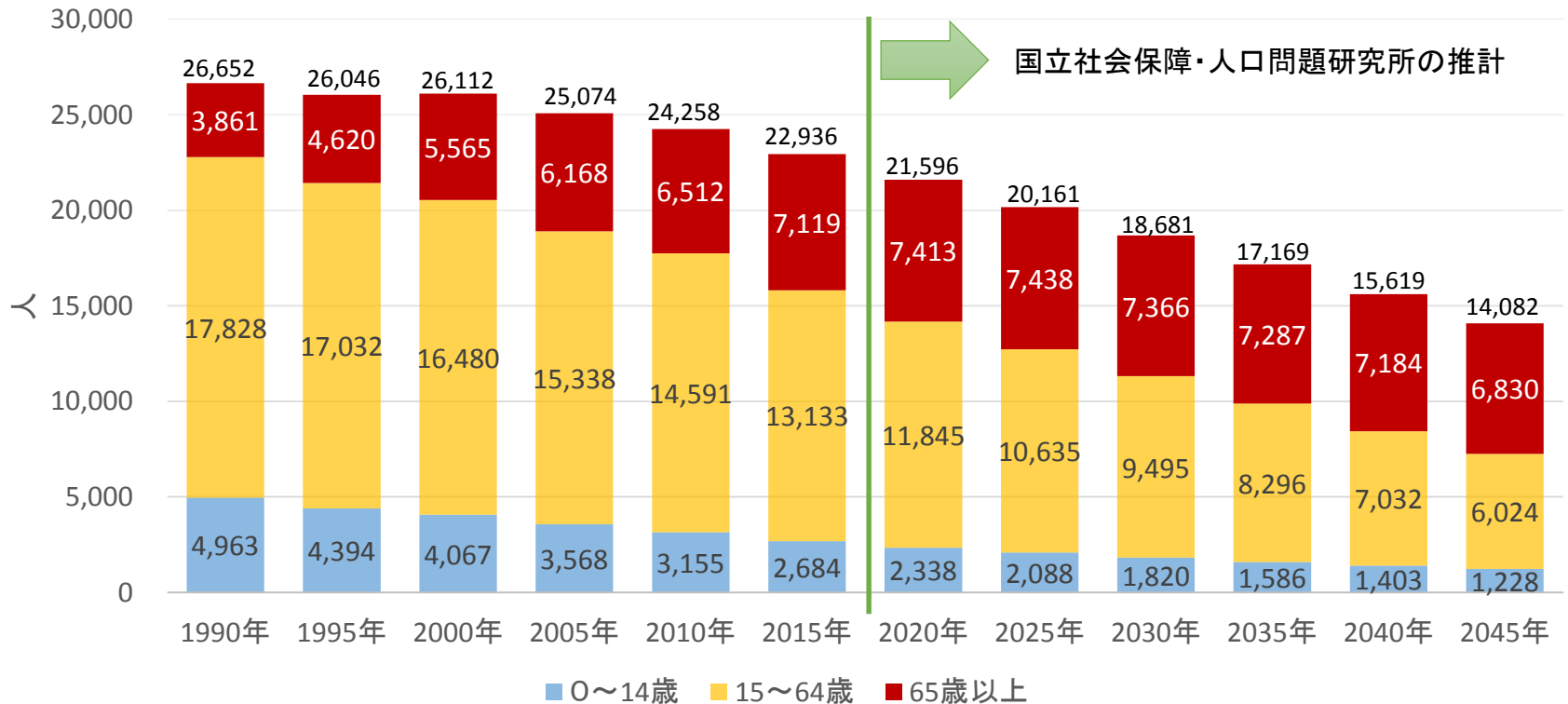
3.2倍



H21

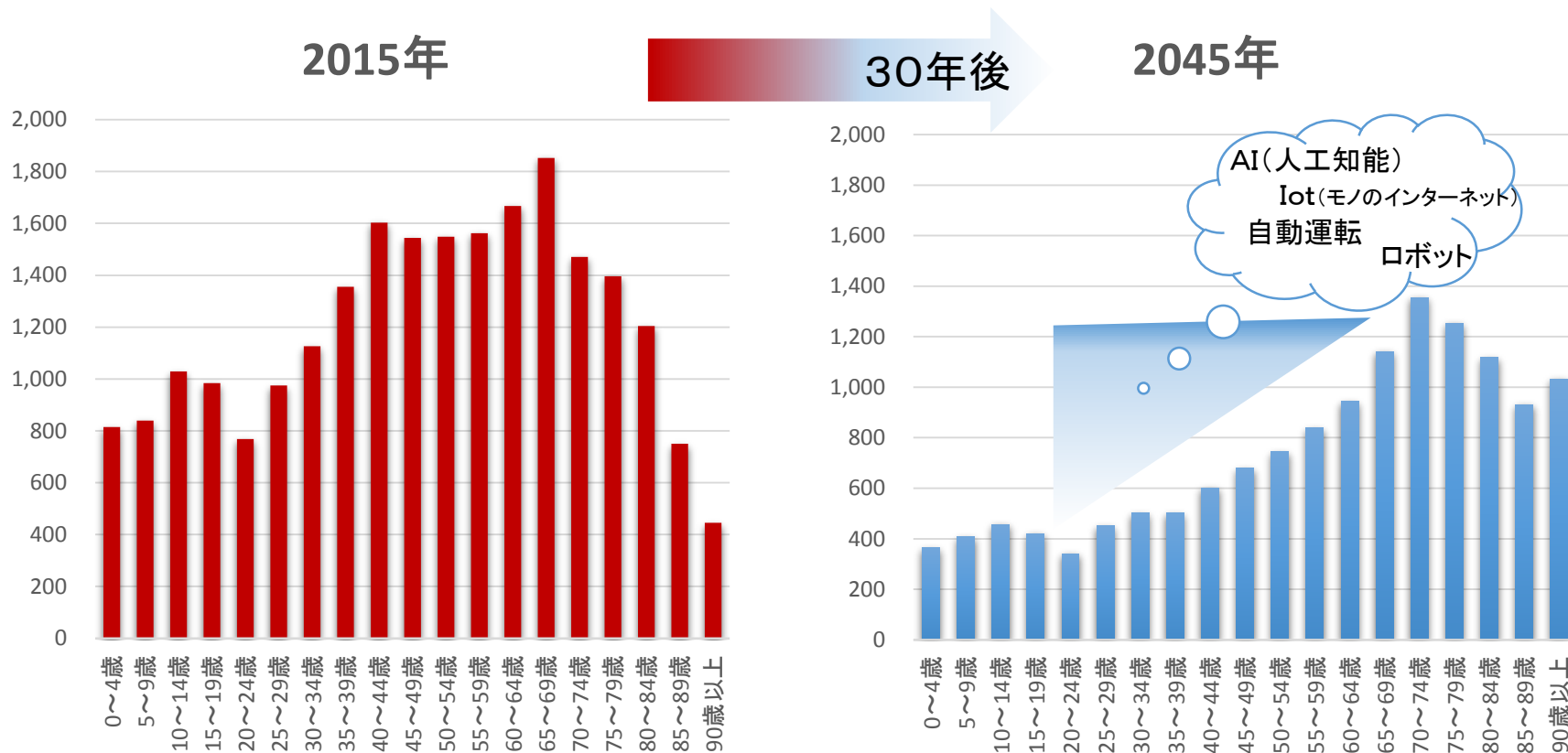
H29

2015年の国勢調査を基準に30年後の人口推計



- 年少人口(0～14歳)が半分となり、教育環境に大きな影響をもたらすことが想定される。
- 生産年齢人口(15～64歳)も半分となり、人手不足が深刻化し各分野で人材の確保が困難になることが想定される。
- 高齢者人口(65歳以上)は、2025年頃ピークを迎え、その後も人口の半分近くを占めることとなる。
- インフラは、利用者の減少により、人口一人当たりの維持管理費が増加する。

2015年と2045年の5歳階級別人口の比較



- 2015年は65～69歳の団塊世代と40～44歳の団塊ジュニア世代の2つの山がある。
- 30年後の2045年は、団塊ジュニア世代が70歳を迎えて1つの山となる。
- この30年間で生産年齢人口の激減、高齢世帯の増加にともなう対策が急務。

将来を見据えて考えておくべきこと①



防災・減災対策



地域交通の確保



インフラ・公共施設の老朽化

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGs（持続可能な開発目標）

- 2015年9月、国連サミットにおいて採択された国際社会共通の目標であり、先進国、発展途上国を問わず、その達成に向けた取組が広がっています。
- 経済・社会・環境をめぐる幅広い課題の統合的な解決を目指しています。
- 行政だけでなく、市民の皆さんや企業、団体・NPO、教育機関など、あらゆる関係者が連携・協働して取り組むことが必要です。

将来を見据えて考えておくべきこと②

富良野市

人口減少や少子高齢社会、働き手不足のなかで、人工知能(AI)や情報通信技術(ICT)を活用した取り組みも考えていく必要があります。

たとえば・・・



遠隔医療・介護

AIも活用し、症状の軽いうちからしっかりケア(「ADホスピタル」)。夜間の心配な急病もネットで簡単に受診。いつでも見守られ、安心を提供。



遠隔教育

一人ひとりに即したコンテンツを、子供から大人まで、いつでもどこでも誰にでも、ネットで必要な時に配信。



自動走行・自動配送

いつでも、どこでも、自動走行車両がご案内。必要な時に必要なものを即時にお届け。宅配ボックスはもう不要。



キャッシュレス

ランチから買い物まですべてキャッシュレス。お得なポイントも顔認証などで一括処理。家計簿管理も、楽々。

新たな総合計画に向けた本年度の取り組み

時期	ニーズの把握
4月	市職員の総合計画に関するアンケート調査の実施
7月	市民意識調査の実施(市民1,110人対象)
7月	転出入者アンケート調査の実施(転出入者1,350人対象)
10月・12月	市民ワークショップの開催
9月～11月	市内15会場で「市民と市長の地域懇談会」を開催し、市民のニーズ把握 Q: 令和3年度からの新たな総合計画では、どのようなまちづくりをめざし、どのような取り組みが必要か？